

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 10 日 (2020.12.10)

【公開番号】特開 2020-122977 (P2020-122977A)

【公開日】令和 2 年 8 月 13 日 (2020.8.13)

【年通号数】公開・登録公報 2020-032

【出願番号】特願 2020-68993 (P2020-68993)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

C 0 9 J 185/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

C 0 9 J 185/04

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 26 日 (2020.10.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

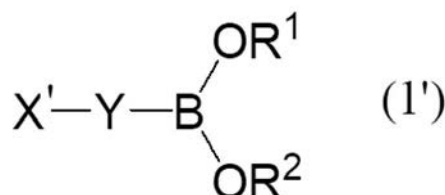
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

偏光子の少なくとも一方の面に、硬化性樹脂組成物を硬化して得られた硬化性樹脂層を備える偏光フィルムであって、

前記硬化性樹脂組成物が、下記一般式 (1')

【化 1】



で表される化合物 (ただし、X' はビニル基、(メタ)アクリル基、スチリル基、(メタ)アクリルアミド基、ビニルエーテル基、エポキシ基、オキセタン基およびメルカプト基からなる群より選択される少なくとも 1 種の反応性基であり、Y はフェニレン基または炭素数 1 ~ 20 の置換基を有してもよい直鎖または分岐のアルキレン基であり、R¹ および R² はそれぞれ独立に、水素原子、置換基を有してもよい、脂肪族炭化水素基、アリール基、またはヘテロ環基を表す) を含有し、

前記硬化性樹脂層が接着剤層であることを特徴とする偏光フィルム。

【請求項 2】

前記一般式 (1') で表される化合物が有する R¹ および R² がいずれも水素原子である請求項 1 に記載の偏光フィルム。

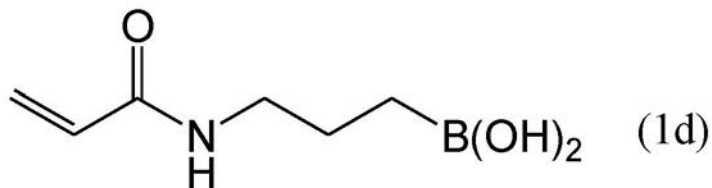
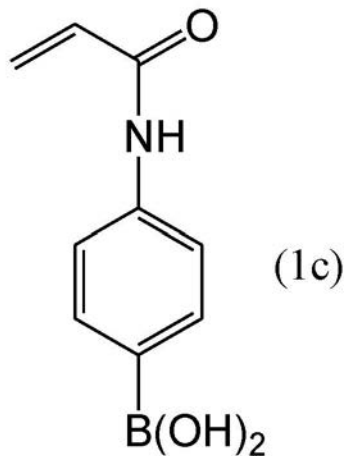
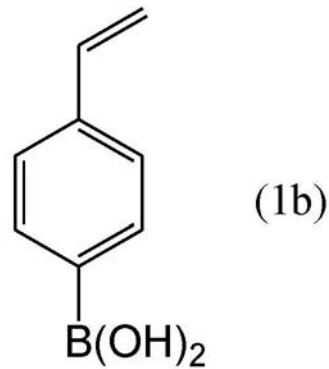
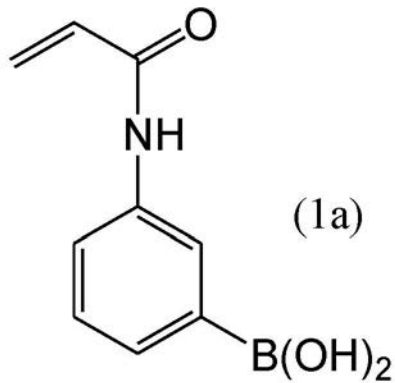
【請求項 3】

前記接着剤層を介して、前記偏光子の少なくとも一方の面に透明保護フィルムが設けられた請求項 1 または 2 に記載の偏光フィルム。

【請求項 4】

前記一般式 (1') で表される化合物が、下記一般式 (1a) ~ (1d) :

【化 2】

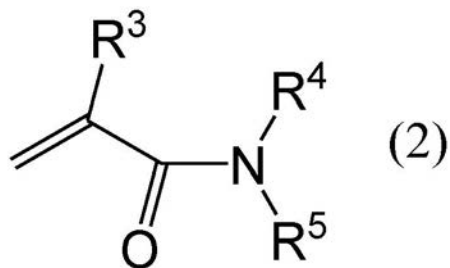


で表される化合物である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の偏光フィルム。

【請求項 5】

前記硬化性樹脂組成物が、下記一般式 (2) :

【化 3】



で表される化合物 (ただし、 R^3 は水素原子またはメチル基であり、 R^4 および R^5 はそれぞれ独立に、水素原子、アルキル基、ヒドロキシアルキル基、アルコキシアルキル基または環状エーテル基であって、 R^4 および R^5 は環状複素環を形成してもよい) を含有する請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の偏光フィルム。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 いずれかに記載の偏光フィルムが、少なくとも 1 枚積層されていることを特徴とする光学フィルム。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 5 いずれかに記載の偏光フィルム、または請求項 6 に記載の光学フィルムが用いられていることを特徴とする画像表示装置。

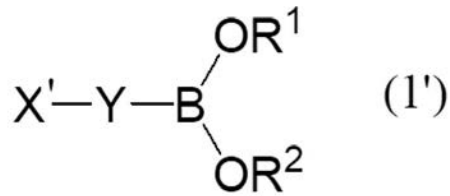
【請求項 8】

偏光子の少なくとも一方の面に、硬化性樹脂組成物を硬化して得られた硬化性樹脂層を

備える偏光フィルムの製造方法であって、

前記硬化性樹脂組成物が、下記一般式 (1'))

【化 4】



で表される化合物 (ただし、X' はビニル基、(メタ)アクリル基、スチリル基、(メタ)アクリルアミド基、ビニルエーテル基、エポキシ基、オキセタン基およびメルカプト基からなる群より選択される少なくとも 1 種の反応性基であり、Y はフェニレン基または炭素数 1 ~ 20 の置換基を有してもよい直鎖または分岐のアルキレン基であり、R¹ および R² はそれぞれ独立に、水素原子、置換基を有してもよい、脂肪族炭化水素基、アリール基、またはヘテロ環基を表す) を含有するものであり、

前記偏光子の少なくとも一方の面に、前記硬化性樹脂組成物を塗工する塗工工程と、

前記偏光子面側または前記硬化性樹脂組成物の塗工面側から活性エネルギー線を照射して、前記硬化性樹脂組成物を硬化させる硬化工程を含み、

前記硬化性樹脂層が接着剤層であることを特徴とする偏光フィルムの製造方法。

【請求項 9】

前記接着剤層を介して、前記偏光子の少なくとも一方の面に透明保護フィルムが設けられた偏光フィルムの製造方法であって、

前記偏光子および前記透明保護フィルムの少なくとも一方の面に、前記硬化性樹脂組成物を塗工する塗工工程と、

前記偏光子および前記透明保護フィルムを貼り合わせる貼合工程と、

前記偏光子面側または前記透明保護フィルム面側から活性エネルギー線を照射して、前記硬化性樹脂組成物を硬化させることにより得られた前記接着剤層を介して、前記偏光子および前記透明保護フィルムを接着させる接着工程とを含む請求項 8 に記載の偏光フィルムの製造方法。